

西暦647年にいがた

ぬたりのき
— 淳足柵の謎にせまる —

平成19年7月21日 ~
9月2日

開催趣旨

『日本書紀』に記され、北方への守りと地域支配の拠点としてつくられた「淳足柵」は、新潟の古代史の最も高い関心事であると同時に、多くの謎を秘めています。1990年に八幡林遺跡(長岡市・旧和島村)で発見された「沼垂城」と記された木簡は大きな衝撃を与え、淳足柵への注目を集めました。その後、研究者による淳足柵をめぐる調査・研究も行われ、淳足柵を取り巻く状況が少しずつ見えてきました。

本企画展では、こうした研究成果を整理し、淳足柵にまつわる情報や柵がつけられた背景をわかりやすく伝えるとともに、関連する遺跡や出土資料を紹介します。

淳足柵への興味・関心が高まるほど謎も深まります。これも淳足柵の魅力の1つかも知れません。

展示構成

淳足柵の登場

淳足柵の存在を物語る資料とその解釈について紹介する。

淳足柵設置とその背景

淳足柵がつけられた背景を紹介する。

東北の城柵と飛鳥の都

淳足柵に続いて東北につくられた城柵と当時の都について紹介する。

淳足柵設置後の古代の蒲原

淳足柵がつけられてから変化する周辺の古代の様子と主な遺跡を紹介する。

主な展示品

八幡林遺跡『沼垂城』記載木簡(複製品)
威奈大村骨蔵器(複製品、現品:国宝)
太平洋側につくられた同時期の城柵である郡山遺跡出土品
8世紀には北方への日本海側最前線基地となる秋田城跡出土品
蝦夷の墓(末期古墳)出土品
淳足柵周辺の古代遺跡出土品 など

淳足柵から沼垂町へ

淳足柵から名を引き継ぐ沼垂町について、中世以後の様子を紹介する。

淳足柵の探索

新潟大学をはじめ関係する研究者によって2000年から行われている調査・研究の主な成果を紹介する。

関連企画

展示解説会 毎週日曜日 14:00~(40分程度)

申込み不要(時間までに企画展示室へお集まりください) 企画展観覧券が必要です。

関連講座「淳足柵と古代越後」 各日とも土曜日13:00~15:30 会場:2階セミナー室

8月11日 小林昌二氏(新潟大学文学部教授)「高志の城柵」

坂井秀弥氏(文化庁記念物課主任文化財調査官)「列島社会における古代越後」

8月18日 相澤央氏(新潟市歴史文化課非常勤嘱託)「古代越後の城柵と役所」

浅井勝利氏(新潟県立歴史博物館主任研究員)「古代越後の交通」

8月25日 長島栄一氏(仙台市教育委員会文化財課主任)「仙台郡山遺跡から見た淳足柵」

藤森健太郎氏(群馬大学教育学部准教授)「古代王権と越後 淳足・飛鳥・洛陽」

申込み:7月31日(火)必着 各日とも資料代200円、定員80人

氏名・住所・連絡先電話番号と希望講座日を明記し、

往復ハガキか電子メールにて、下記博物館まで。

夏休み古代体験「古代の塩づくりに挑戦!」

7月28・29日(土・日)14:00~16:00

会場:屋外芝生広場 参加費無料 申込み不要(当日ご自由にお越しください)

「にいがた古代まつり」

8月12日(日)14:00~16:00

主催:文化財保存新潟県協議会・新潟市歴史博物館

会場:体験の広場・屋外芝生広場 申込み不要(当日ご自由にお越しください)

新潟日報ふるさと発見歴史ゼミナール「淳足柵の謎とその時代」

7月16日(月・海の日) 9:30~17:00

主催:新潟日報社・新潟市歴史博物館

会場:リゅーとびあ劇場

申込み:往復ハガキに氏名・住所・電話番号を記入の上

〒950-1189 新潟市西区善久772-2

新潟日報社事業局「歴史ゼミ」係まで 資料代1,000円

折り返し聴講券をお送りしますので、1名につき1枚のハガキで

お申し込みください。7月9日(月)必着。定員600人

お問合せは、新潟日報社事業局 TEL:025-378-9266

市民参加展示企画「私が考える淳足柵」募集

淳足柵に関する自由な意見や考えを募集し、期間中に展示室内で紹介し、

応募方法:説明文に、氏名・住所・連絡先電話番号を記入した用紙を添えて、

直接または郵送か電子メールにて、下記博物館まで。

一次〆切、6月30日(土)

詳細は、当館ホームページをご覧ください。

INFORMATION

観覧料(常設展示観覧料を含む)

	一般	団体(20名以上)
大人	600円	480円
大学生・高校生	400円	320円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

中学生・小学生は、土・日・祝日の観覧料が無料になります。

開館時間:9:30~18:00

(観覧券の販売は閉館30分前まで)

休館日:7/23(月)、30(月)、8/6(月)、20(月)、27(月)

交通案内

新潟駅より:

新潟市観光循環バス(犬夜叉号)で

15分「歴史博物館前」バス下車すぐ

新潟交通「昭和大橋・入船営業所」行き

バスで25分「歴史博物館前」バス停

下車すぐ

車で:

新潟バイパス紫竹山ICより約15分

(駐車場:73台収容可能)

信濃川ウォーターシャトルが敷地脇

より発着



〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
Tel:025-225-6111 Fax:025-225-6130
URL <http://www.nchm.jp>
E-mail: museum@nchm.jp